

地域ミライ創造委員会 基本方針

副理事長 大西 正起

地域ミライ創造委員会 委員長 細井 里奈

技術革新の速度はますます加速しており、まちをつくる団体として柔軟に対応し、学びと変化を続ける姿勢が求められます。より新たな視点の変革を進め、地域が持つ可能性を広げていくことが重要となります。一方で、地域発信を目的とした継続事業である釣りまつりは、対外に意義や価値が十分に伝わっていない現状があるため、地域の新たな価値の提供にむけて、より広く共感を得られるようその魅力を効果的に発信する組みが必要です。

まずは、2025年日本国際博覧会が開催されることも視野に入れた、未来を見据えた学びと行動を起こすことを目的とする例会を開催することで、地域をより良くするため積極的に知見を探究する機会を創出します。さらに、例会で得た体験と視点から、現状を的確に把握し、組織の力を最大限に活かして多様化する課題に柔軟かつ真摯に向き合うことで地域の可能性を広げ、さらなる発展を目指します。そして、これまで継続してきた観光資源を活用した事業についても、さらに磨きのかかった事業とするために従来の計画内容や手法を見直すことで、参加者や協力してくれる団体の皆様が満足感を味わえると同時に、その価値を実感できる事業内容へと改革していきます。また、徳島県が新たに取る施策によって、多様な観光客との接点が広がる今、この可能性を最大限に引き出すために地域資源の活用法を新たな視点から見つめ、体験を通じた地域の魅力発信を目指します。これらの取り組みを通じ、訪れる人々が再び足を運びたいくなるような体験を提供し、まちづくりの実現を目指すとともに、地域が持つ価値を広く伝える実践へとつなげていきます。

文化を守り発展させる組織として、常に時代の変化や進化に目を向け、地域の課題を自分ごととして捉えていく姿勢がメンバー全員の勢いと実行力を高めていき、地域のミライを見据えた目的を明確に持つことでその先に持続可能な発展が実現すると確信しています。

SDGs 4、8、11、13、17

<事業計画>

1. 公開討論会の企画・設営
2. 4月ミライを創造する例会の企画・設営
3. 月地域活性化にむけた事業の企画・設営